1、文化と憩いの
まちづくりを

2026年6月17日
日本共産党
徳本光香 一般質問

文化センター４館の大規模改修

大ホール
吊り天井

大ホール
吊り天井

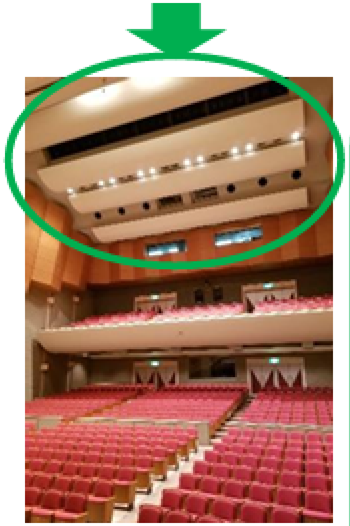
2011年 東日本大震災
2000施設の天井が落下→法改定

九段会館
２名死亡

大ホール吊り天井のワイヤー補強

2、文化会館大ホールの危険な吊り天井

小中学生を含め、年間4万8千人以上(2018)が使う文化会館大ホール。その吊り天井が、大地震時に落下する可能性があるとわかりました。命最優先で改修の選択を！



文化会館大ホールの吊り天井

市の対応　５つの大問題

① 天井の危険を**市民・議会に説明していない**
② 石膏ボード**落下**(頭を割る3倍の衝撃)**を防げない ワイヤー補強を「安全性高める」**と説明
③ 耐震基準「**適格」の準構造化改修を「不適格」と誤って説明**し、不適格なワイヤー補強を採用
④ 市は調査会社に「**閉館を短期間にしたい」**と話し(調査会社情報)、調査会社は「**安全な準構造化(評価○)」より「閉館不要なワイヤー補強(評価◎)」を高く評価**した改修案を提出
⑤ ワイヤー補強後の「耐震基準を満たす改修」は**５年以内に行うかどうかも未定**(担当課)

問　天井落下の危険性を、いつ市民に知らせますか？

答　知らせる予定はありません。

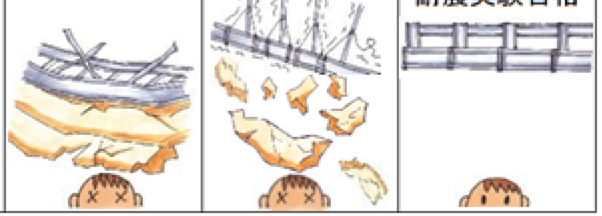
問　日本建築学会の「天井等の非構造材の落下事故防止ガイドライン※」を読みましたか？

市長　詳しくは読んでいません。

※日本建築界で最も権威ある学術団体「日本建築学会」が作成(2013.3.4)。科学的知見に基づき「確実な人命保護の実現」の後に費用等の議論をと提言し、これを受けて国は天井脱落防止法を改定。右表の天井落下実験も掲載

大ホール天井の改修案比較

	現状	天井の下地のみを補強 ワイヤー補強 (市の選択 ↓採用)	天井を建物と一体化 準構造化 (↓却下)
耐震基準	×不適格	×不適格	○適格
先例	重量天井(白井市大ホール)改修用でない為 ➡	無(全国で一例もなし)	有(大学・音楽ホール等)
閉館		不要	３ヶ月
費用	耐震基準×のため今後本格改修が必要 ➡	補助金なし 2527万＋本格改修費	補助金11.5%を引いて 1億142万
大地震時に起こる可能性	石膏ボードと下地落下 頭を割る３倍以上の衝撃+α	石膏ボード落下 頭を割る３倍以上の衝撃	安全＝地震後も使用可 阪神淡路・三陸・熊本地震 耐震実験合格



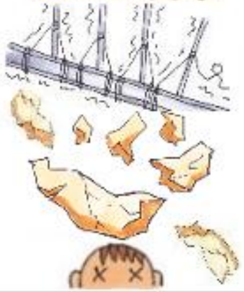
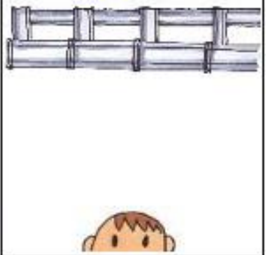
出典：市の調査会社資料、左の日本建築学会ガイドライン
耐震実験は京都大学(三洋工業ＨＰ)

2019年 徳本 議会報告

2019年
徳本
議会報告

大ホール天井の改修案比較

市の選択 ↓採用 ↓却下

	現状	天井の下地のみを補強 ワイヤー補強	天井を建物と一体化 準構造化
耐震基準	×不適格	×不適格	○適格
先例	重量天井（白井市大ホール）改修用でない為 ➡	無（全国で一例もなし）	有（大学・音楽ホール等）
閉館		不要	３ヶ月
費用	耐震基準×のため今後本格改修が必要 ➡	補助金なし 2527 万＋ 本格改修費	補助金 11.5%を引いて 1 億 142 万
大地震時に起こる可能性	石膏ボードと下地落下 頭を割る３倍以上の衝撃+α 	石膏ボード落下 頭を割る３倍以上の衝撃 	安全＝地震後も使用可 阪神淡路・三陸・熊本地震耐震実験合格 

出典：市の調査会社資料、左の日本建築学会ガイドライン
耐震実験は京都大学（三洋工業ＨＰ）

各席にヘルメット常備の古い議場

文化センター4館の大規模改修流れ

◆2021年～2023年の2年間
文化センターあり方検討委員会

・学識経験者・市内の教育関係者・市民など
・市民ワークショップや市民アンケート開催
→教育委員会に提言書を提出
※進め方、決定方法、内容に問題あり

費用　2035万円

文化センター4館の大規模改修流れ

2023(R5).5. 2 白井市教育委員会
「文化センターのあり方に関する方針」決定
※ほとんど協議なし、決定内容に問題あり
→白井市に提出
→白井市は、教育委員会の「方針」を
「市の方針」として決定

教育委員会・白井市
「文化センターのあり方に関する方針」

白井市文化センターのあり方に関する方針

令和５年５月２日

白井市教育委員会

白井市文化センターのあり方検討委員会からの提言を踏まえ、白井市文化センターのあり方に関する方針を下記のとおりとする。

記

文化センターは、施設全体及び全館（大ホール、中ホール、図書館、郷土資料館、プラネタリウム館、エントランス等共用スペース）存続とする。

また、改修にあたっては市の財政状況を充分に踏まえたうえで内容を検討すると共に、既存不適格部分の改修を適切に行う。

なお、一部機能の縮小や廃止はやむを得ないが、改修時に更新が必要な設備や機器などは、利用者が使いやすいものを導入する。

１　文化会館大ホールは存続とする。ただし、規模は維持し、機能（舞台機構、舞台音響、映像設備）は縮小する。

また、利用者、来館者に対する安全性の確保を前提とした改修内容とする。

２　文化会館中ホールは存続とする。ただし、一部機能は廃止する。

また、用途変更、収益施設や他公共施設機能の導入などを検討し、スペースを有効活用する。

３　図書館は存続とする。ただし、規模（蔵書数・面積）は縮小し、社会変化に合わせた利用形態や他の公共施設の移転など、新たな機能を導入する。

4　郷土資料館は存続とする。ただし、展示室の規模は縮小し、余剰面積を収蔵スペースへ転用、さらなる収蔵場所の確保は文化センターの内外への収蔵機能を移設させることとし、デジタルアーカイブ化、近隣自治体との広域連携等の方策を検討する。

5　プラネタリウム館は存続とする。ただし、一部機能の縮小や廃止を検討する。

6　共用部分は、エントランスホールはミニコンサートやワークショップなどのイベント会場としての活用、現在空きスペースとなっている喫茶スペースをコワーキングスペースや飲食スペース等への活用、外部空間（前庭・中庭）との一体的な利用を検討する。

　また、検討にあたっては、外部からも利用方法について意見を求め、その際は安全性に配慮したものとする。

2026(R8)2.6

「白井市文化センター大規模改修基本計画策定の方向性について」

資料２

R8.2.6 議員全員協議会資料

文化センター各館機能における検討項目について

１．検討の進め方

令和５年５月２日「白井市文化センターのあり方に関する方針」及び令和７年８月２６日から令和７年９月１５日まで実施した市民アンケート結果を踏まえ、以下のとおり検討を進める。

機能は４館の運営協議会（文化会館、図書館、郷土資料館、プラネタリウム館）との意見交換により「２．各館の機能における検討項目について」のとおり検討項目として定めた。今後はサウンディング型市場調査により、民間企業との意見交換を実施して検討を進める。

なお、導入にあたっては、市の各種計画や財政状況、文化センター周辺の環境を十分に考慮して判断することとする。

２．各館の機能における検討項目について

（１）文化会館

〇大ホール

・舞台機構・舞台音響は、利用状況を考慮し現状維持に努める。また、機器更新にあたっては省エネ化等の検討

・映像設備は、利用状況を考慮し機器の省エネ化等の検討

・バリアフリー化（トイレや動線の改善等を含む）の検討

・その他

〇中ホール

・音楽・ダンス等の練習、発表機能に係る検討

・舞台機構・舞台音響・映像設備は、利用状況を考慮し省エネ化等の検討

・床仕上げ変更及び天井・壁・床の防音防振化の検討

・可動間仕切りによる分割貸出の検討

・その他

〇共通

・補聴システム導入の検討（参考：赤外線、磁気ループ、スマートグラス）

・その他

（２）図書館

- IC チップ装備とブックディテクションシステム導入によるセルフ貸出機・返却機・予約棚の設置と貸出前資料の施設内（共用スペースや他館）への持出サービスの展開の検討
- レイアウト変更に伴う蔵書数見直しと配架・閲覧スペース再編の検討
- 魅力的な棚作成と展示コーナー・書庫の電動書架整備の検討
- バリアフリーに配慮したレイアウトの検討
- 電子書籍導入の検討
- 児童コーナー拡充の検討
- 学習スペース再編の検討
- 会話可能な場所と静かに読書できる場所の確保の検討
- その他

（３）**郷土資料館**

・既存スペースにおいて、必要な収蔵面積の確保の検討
・上記に伴う、展示室と収蔵庫の面積変更の検討
・デジタルアーカイブ化とデジタル展示の検討
・電気・照明・消火設備改善の検討
・展示室及び収蔵庫の温湿度管理改善の検討
・防犯カメラ導入の検討
・修補作業スペースの確保の検討
・その他

（４）**プラネタリウム館**

・投映機は、光学式プラネタリウムとデジタル式プラネタリウムを併用する。
機器の更新は、機器の性能やコスト等を考慮し、最適なものを検討する。
・音響設備は、現状維持に努め、省エネ化等の検討
・補聴システム導入の検討（参考：赤外線、磁気ループ、スマートグラス）
・座席の更新。座席数は市内小中学校普通教室２クラス分が視聴できる数とする。
（７５席程度）
・バリアフリーに配慮した座席等の検討（幼児用クッション、車いす対応等）
・プレミアムシートやペアシート、お座敷シート等設置の検討
・投映やイベント等がない際の一般貸出の検討
・その他

2026(R8)6月
予算倍増のため、大改修は実現性が低いと各課の協議で判断

→大規模改修・基本計画は(案)のまま策定終了
→今後は維持・修繕、根本から見直し

文化センター4館の大規模改修基本計画（案）作成までの支出

◆文化センター大規模改修・基本計画
策定業務委託料　4609万円

◆大規模改修にかけた費用

合計　6644万円

（３）多くの人が憩い
よろこばれる公園

（3）多くの人が憩い よろこばれる公園

千葉公園
トイレ

千葉公園
トイレ

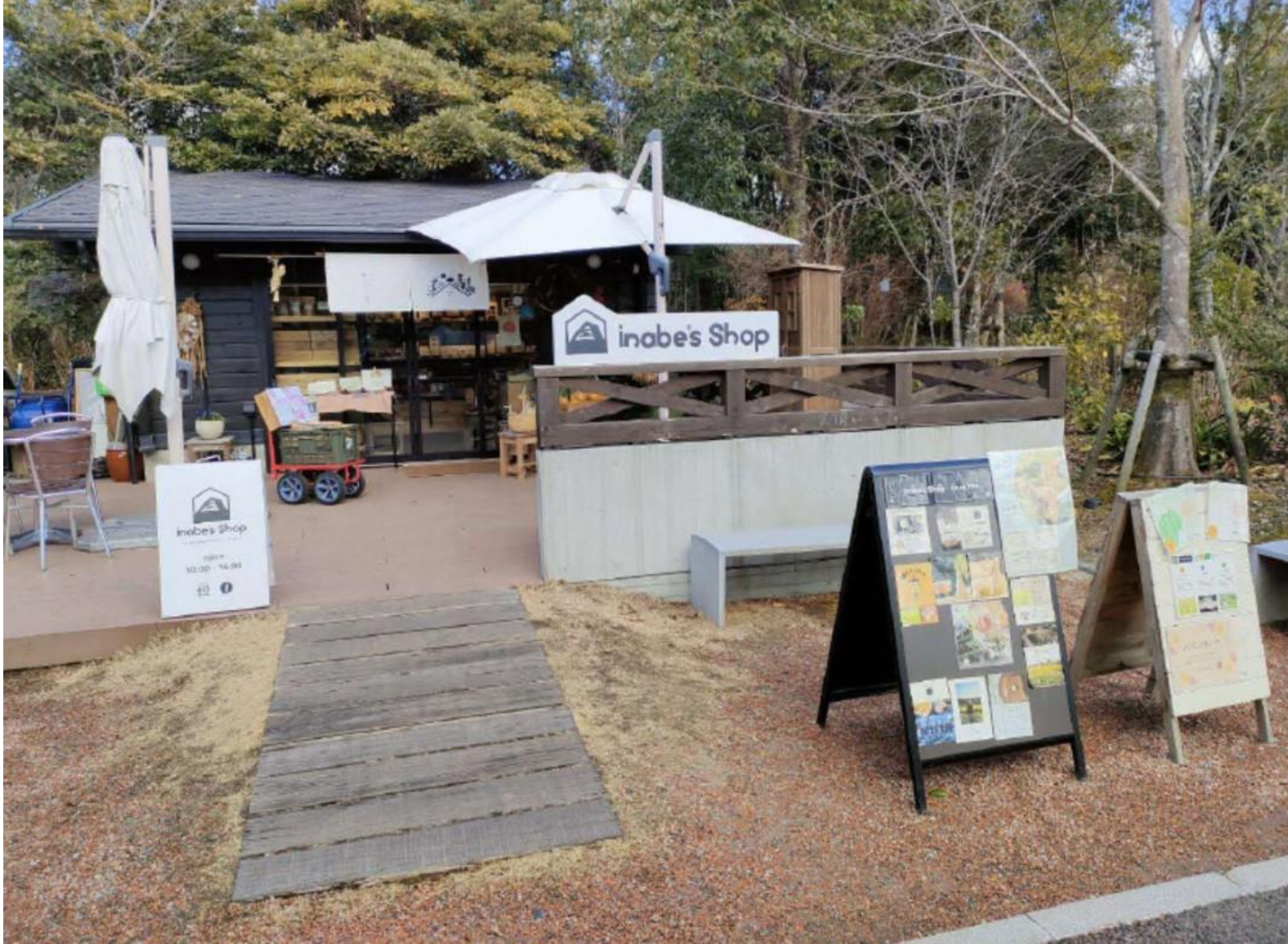
千葉公園
パン屋

千葉公園

白井市　コロナ対策を書いた看板

さわやか
ボール遊び
広場

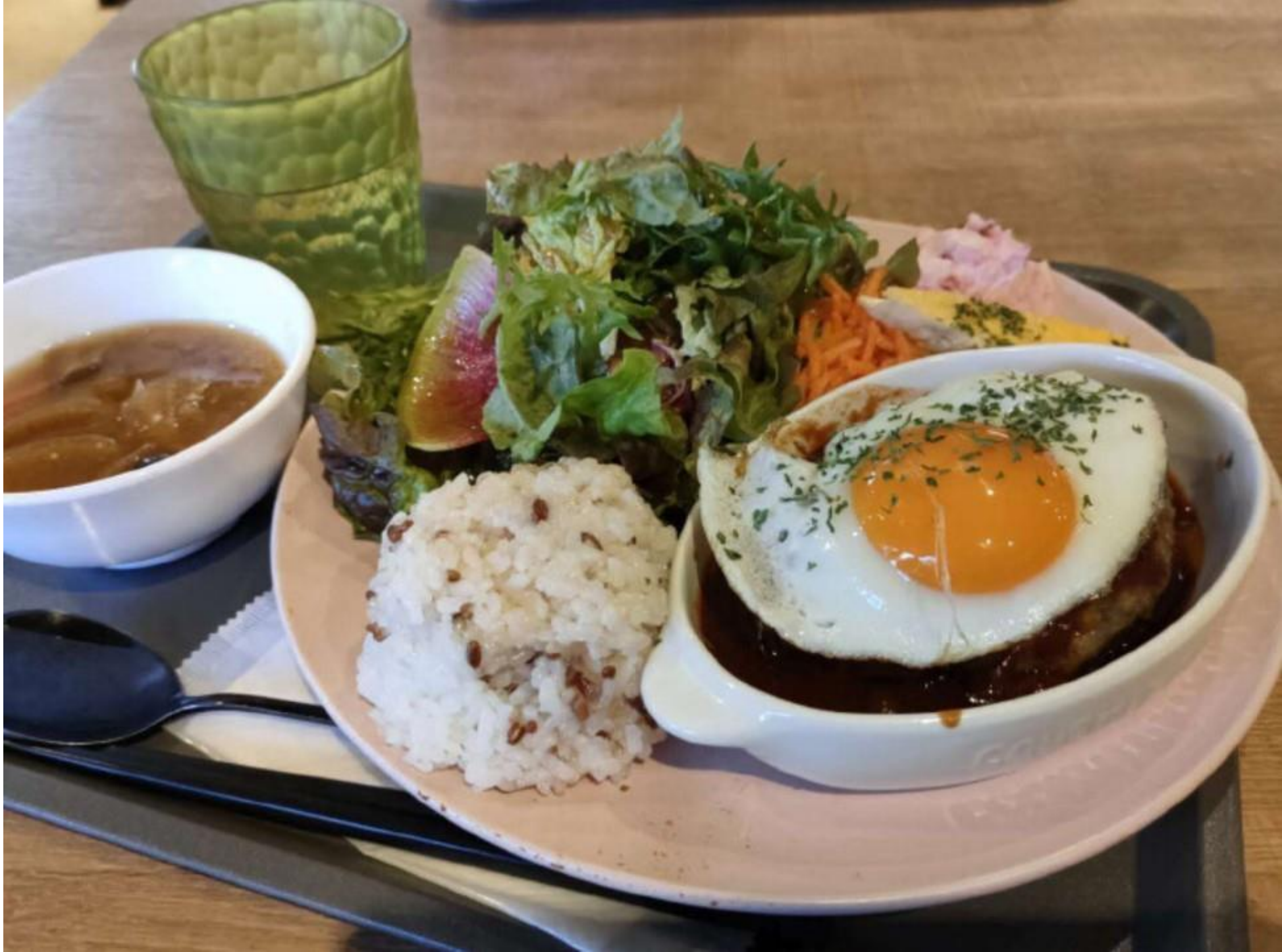
三重県
いなべ市



三重県
いなべ市

三重県
いなべ市

三重県
いなべ市



ニューヨーク

ニュー
ヨーク

ニューヨーク

YOU'RE NOT LITTLE EDIE,
AND THIS ISN'T GREY
GARDENS.
STORAGE
$29
FREE

（4）休み憩えるベンチをふやそう

柏駅前

柏駅前

我孫子市

広島市

広島市

広島市

日比谷
公園

思い出ベンチ
日比谷公園に根をおろして
早や50年
日比谷　南部亭

2、市内の便利で
安全な公共交通環境

「オンデマンド交通実証実験
運行管理システム導入業務」委託仕様書より

運行区域	白井市北東部　約２０．６ｋ㎡（下図の色塗部）
運行期間	令和８年９月１日（火）～令和８年１２月２８日（月）
運行日	月曜日～土曜日（祝日は運休） （運行日数合計　９６日）

白井市作成

運行時間	７時００分（出庫）～１９時３０分（着庫）
運行内容	AI 配車によるオンデマンド交通による運行を行う。 運行区域内に設定した乗降ポイントの相互間と、運行区域内の乗降ポイント～運行区域外の乗降ポイント間において、即時予約及び事前予約制で運行する。
運行事業者	別途本市が指定するタクシー事業者（２者）
車両台数	２台（各運行事業者１台）
乗務員・車両運用	A 運用：7:00～19:00（12:30～13:30 休憩） B 運用：7:30～19:30（13:30～14:30 休憩）
運賃	白井市地域公共交通活性化協議会運賃協議分科会で決定する。
乗降ポイント（停留所）	運行区域内：１２０箇所程度 運行区域外：５箇所程度（白井市役所・白井駅・西白井駅・千葉ニュータウン中央駅・フォルテ白井等）
乗合設定	乗合あり
電話予約	別途本市が指定する事業者が受付 アプリ・Web：２４時間 電話：運行日の８：００～１７：００（予定）

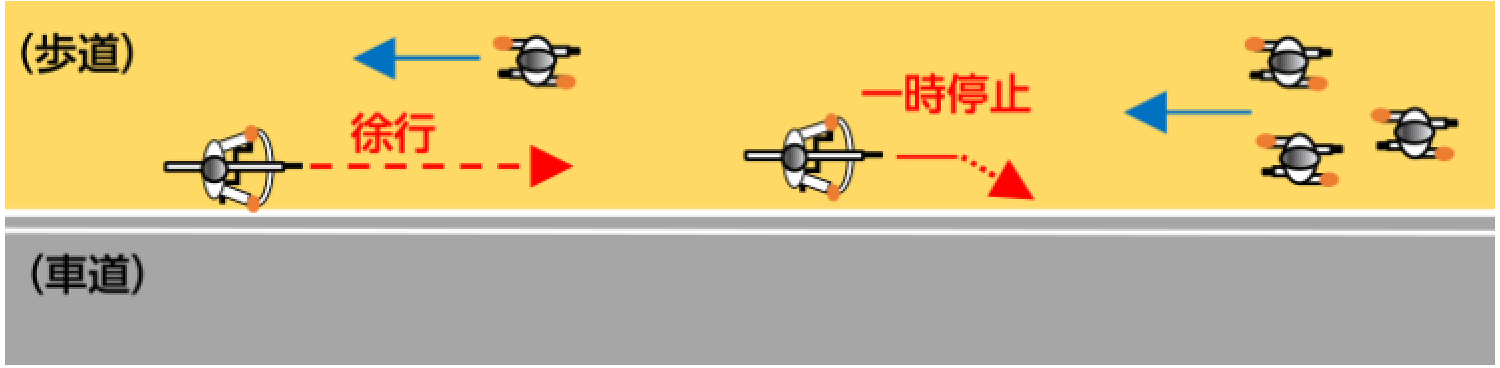
白井市作成

命を守る自転車の通行ルールの周知を

命を守る自転車の通行ルールの周知を

歩道は例外、歩行者を優先

道路標識などにより、歩道を通行できる場合は、車道寄りの部分を徐行します。
また、歩道は歩行者が優先です。歩行者の通行を妨げるときは一時停止しましょう。

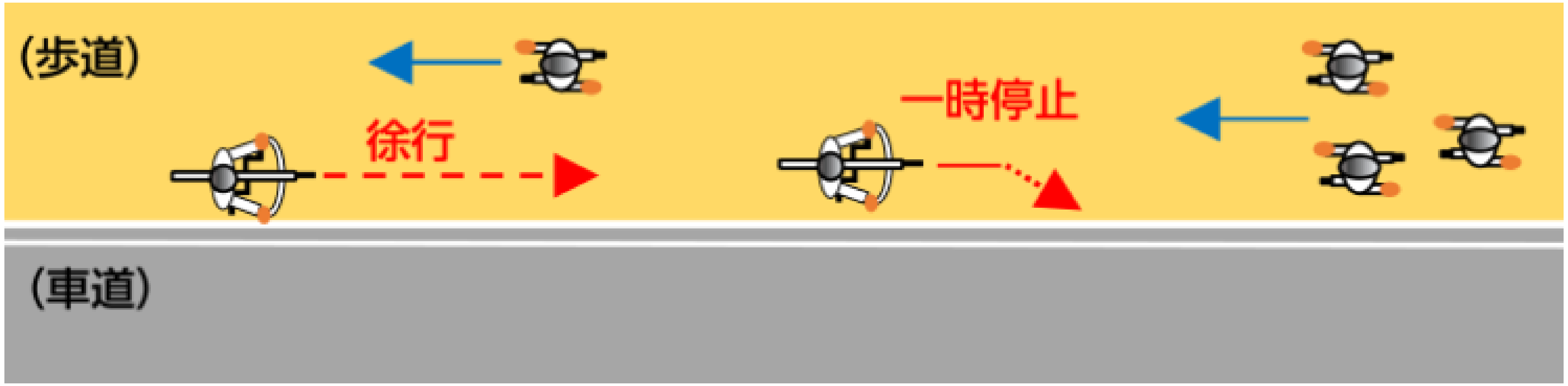


※歩道を通行できる自転車は、長さ190cm以内及び幅60cm以内といった基準を満たす普通自転車に限られます。

警察庁ウェブサイト　自転車の交通ルール

歩道は例外、歩行者を優先

道路標識などにより、歩道を通行できる場合は、車道寄りの部分を徐行します。
また、歩道は歩行者が優先です。歩行者の通行を妨げるときは一時停止しましょう。



ヘルメット
普及で命を
まもろう